

競泳の大会実施における感染リスク管理

「入れない・拡げない・逃がさない」

相模原市水泳協会 添畑大海

※新しく追加した点は赤字で記載しています。

◎大会前 「入れない」

個人による感染予防

- ◇ 家庭や学校での手洗いうがい、マスクの着用、3密の回避を徹底することで、感染を予防する
- ◇ 家庭内で感染可能性のある者がいる場合、該当選手の参加をとりやめる
- ◇ 当日、たとえ発熱がなくても、体調が優れない場合は参加をとりやめる
- ◇ 引率者を最低限の人数とする
- ◇ 監督者会議は、前日にオンラインで実施する

出場者に関する個人情報の把握

- ◇ 選手の連絡先や健康状態を把握するために、健康チェックシートを作成・提出させる
- ◇ チーム・選手の控え場所、出場種目を把握する

大会要綱の作成

- ◇ 弁護士からアドバイスを受け、誓約書の作成を行う
- ◇ コロナ感染拡大防止策を講じた大会であることを明記する
- ◇ 保険・保障があれば検討する

大会会場のレイアウト

- ◇ ソーシャルディスタンスを確保するために、目印を設置する
- ◇ 選手の動線を確保する
- ◇ 全館使用を考慮する

会場準備

- ◇ 前日準備は最低限の人数で行う
- ◇ 開場時間を遅らせ、当日に準備を行う

◎大会当日

▽朝・開場時 「入れない」

来場手段

- ◇ 公共交通機関の利用を制限するのか？自家用車の規定を変更するか？
- ◇ 電車内や駅構内での密集を避けるために、開催時間の変更や二部制の採用をするか？
- ◇ 課題が多いので、要検討
- ◇ 寄り道の禁止

- ◇ 参加人数はクラブのバスの定員を上限とする

開場

- ◇ 入口で検温をする
- ◇ アルコール除菌をする
- ◇ 靴を脱ぐ
- ◇ 無観客で開催する（保護者や来賓を入場させない、来賓は祝辞に留める）
- ◇ 選手に AD カードを配布し、現認者のサインと当日の体温を記入する
- ◇ 競技役員にも AD カードを配布する
- ◇ 参加チームをグループ分けし、時差来場させる
- ◇ 入口から待機場所までの移動中における 3 密を避ける

▽入場以降 「拡げない」

入場

- ◇ 前後の間隔を開けて、整列入場する
- ◇ 入水時以外は、原則としてマスクを着用する
- ◇ 消毒液を設置し、手指消毒を徹底する

アップ

- ◇ アップは各クラブで行ってから集合する
- ◇ 入れ替え制とし、各レーンの上限人数を設定する
- ◇ チーム毎に時間差で行う、1レーン間隔で行う、一方通行コースやスタート専用コースを設置するなど、工夫して 3 密を避ける

競技

- ◇ 密集を避けるため、1面の競技とする →2面を使用し、ゆっくりと競技する
- ◇ 選手同士の接触を避けるため、ゴールタッチ後はターンサイド側まで泳いでから退水する
- ◇ 1レーン間隔でレースを行い、両側プールサイドから退水する
- ◇ 次の次の組の選手との接触を避けるには、完全退水後に次の組が入場する形の方がいいかも？
- ◇ **オーバーザトップ方式で、1組目は奇数レーンのみ、2組目は偶数レーンのみ使用する**

その他

- ◇ 大声を出しての応援、メガホンの使用を禁止とする
- ◇ タオル、セームの共用はしない
- ◇ トイレの後には必ずシャワーを浴びる
- ◇ 飲み残したドリンクは廃棄する
- ◇ ごみは必ず各自でゴミ箱に捨てる →ゴミ箱は使用禁止とし、ごみは各自で持ち帰る
- ◇ 忘れ物は当日中に廃棄する
- ◇ 共用物品を使用した後は、消毒を徹底する
- ◇ 持ち主が分からないものは触らない

◇ 自販機は中止とする

〈関係者〉

競技役員

- ◇ 最低限の人数で運営する
- ◇ 近隣に在住する者で運営する
- ◇ 場内でのマスクまたはフェイスガード、手袋の着用を義務とする
- ◇ 午前午後の入れ替え制とする
- ◇ 誓約書を記入する
- ◇ ADカードを配布し、検温等の体調チェックを定期的実施した上で記入する
- ◇ 選手への接触、会話は避ける
- ◇ 軽度であっても、体調不良ならば競技役員をしない

医師・看護師

- ◇ 配置を検討するが、濃厚接触者となる可能性があるため、不必要かもしれない

〈場内〉

控え場所

- ◇ 観客席の間隔をあけて、**座れない場所には×印をつける**
- ◇ 通路の控え場所は使用しない
- ◇ 地域ごとに控え場所を指定する
- ◇ ゴミはチーム毎に、手袋を着用した者が回収し、手袋ごとゴミ置き場に破棄する
- ◇ 近距離での会話、大声での応援は絶対に避ける

物品販売

- ◇ **水泳用品等の販売ブースは、当面の間設置しない**

更衣室

- ◇ 次亜塩素酸を噴霧し、ロッカーの把手、イス、水道のハンドル等を消毒する
- ◇ 換気を行う
- ◇ 利用人数を制限し、ロッカーとシャワーは間隔を開けて使用する
- ◇ 脱水機、ドライヤー、体重計の使用を禁止する

通路

- ◇ 記録の速報はオンライン掲示のみとする
- ◇ 扉や窓を常時開放し、扇風機を使用することで、換気に努める
- ◇ 3密を避けるため、係を配置して通行を制御する（順番待ちによる渋滞が懸念されるが）

招集所

- ◇ 招集場所に選手が密集しないよう、競技の時間間隔を空ける
- ◇ 各選手の間隔を空けるために、スペースを確保する
- ◇ 消毒液を設置し、手指消毒を徹底する
- ◇ 招集係はマスクやフェイスガードを着用し、拡声器を使用する

競技役員控室

- ◇ 食事の提供はしない

- ◇ 飲料の共有はしない
- ◇ 座席間隔を広くとる
- ◇ 共用物に次亜塩素酸を噴霧する

◎大会終了後 「逃がさない」

大会後の健康把握

- ◇ 寄り道をしない
- ◇ 選手個人の検温を引き続き実施し、発熱等の症状があれば、所属チームのコーチを通して大会運営に連絡する
- ◇ 濃厚接触者の追跡に協力してもらう
- ◇ 個人情報を引き続き把握する
- ◇ 主催者→施設→保健所の順に連絡し、指示を仰ぐ

◎感染リスク管理に伴い考慮すべきその他の点

無観客開催に伴い、試合中継の配信を検討する

- ◇ 出場選手に関わる特定の人にものみ、限定公開の URL を通知する

参加者の減少と設備投資・運営コストの増加に伴い、参加費の値上げを検討する

感染リスクを低減するため、忘れ物は全て当日中に処分する

開場前後の全館内消毒は、施設側で実施する

どんなに対策を講じても、参加者の理解と協力がなければ達成されない

(2020.05.28 更新)

バージョン 4